

**Kainan East Rotary**

DISTRICT 2640 CLUB WEEKLY BULLETIN



1997-98年度RIテーマ

**Show Rotary Cares**

for your community  
for our world  
for its people

**ロータリーの心を**

あなたの住むところ  
私たちの世界  
そこに住むすべての人々に

グレン W. キンロス

1997-98年度  
RI会長

テーマロゴの4本の右手の由来

Object of Rotary  
The Four-Way Test  
Four Avenues of Service

事務所 海南市日方1294  
海南商工会議所内  
TEL (0734)83-0801  
FAX (0734)83-2266

例会日 毎週月曜日 12時30分

♣第1例会のみ 18時30分

於 商工会議所 4 F

会長 大澤祥宏 幹事 早川 満  
SAA 木地義和

会報委員会 ◎田村健治 ○谷脇良樹  
岩本吉平 橋爪哲生  
前田洋三 西峰義文  
荻野昭裕 瀬藤友子  
土岐啓次郎 吉田昌生

オ1085回 例会 平成10年3月23日(月)午後12時30分  
於 海南商工会議所 4 F

1. 開 会 点 鐘 大沢 祥宏 会長
2. ローターソング 「手に手つないで」
3. ビジター紹介 塩崎 順弘様 (海南RC)
4. 出席報告 会員総数 73名 出席者数 55名  
出席率 79.71% 前回修正出席率 85.51%
5. 会長報告 大沢 祥宏 会長

皆様こんにちは。ビジターの塩崎様よくお越し下さいました。有難うございます。

先日 19日(木) オーストラリア・タスマニアのGSEのメンバー団長以下5人が海南3RCの担当日で当クラブでは、国際委員長上芝さん、それから通訳をおねがいしました花田さん、お2人に一日中御世話を掛けました。本当にご苦労様でした。

リサーチラボ等色々御案内して頂き、特にコンピューター関係の前では大変興味を示され、時間が足りなかったとお聞きしました。無事和歌山各RCのホームステイ先に送り届けました。御報告申し上げます。改めて国際委員会の方々にお礼申し上げます。それから社会奉仕委員長の中村さん、次期委員長の宮田貞三さんと私と3人で、4/3日の「身障者とのふれあいの会」の件で四季の郷に行き参り、色々と役所の方々と打ち合わせをして来ました。後程委員長から報告があるかと思いますが、その節にはよろしくお願ひ致します。

今日は会員の吉田さんのお話です。御静聴下さい。

**6. 幹事報告**

## ○メーキャップ

3/19 花田 宗弘君 (海南西RC)

" 早川 満君 ( " )

" 大沢祥 宏君 ( " )

" 上芝 良造君 ( " )

## ○例会臨時変更のお知らせ

四つのテスト FOUR WAY TEST 言行はこれに照らしてから

- ① 真実か どうか
- ② みんなに公平か
- ③ 好意と友情を深めるか
- ④ みんなのためになるか どうか



和歌山中RC 4/10(金) → 4/10(金)

PM 6:45～ 紀三井寺

和歌山東南RC 4/11(土) → 4/11(土)

AM 10:30～ J Aビル

4/25(土)→4/23(木)

PM 6:30～ 華月殿

有田南RC 4/7(火) → 4/7(火)

PM 6:00～ 紀州南部ロイヤルホテル

4/21(火) → 4/21(火)

PM 12:30～金屋町文化保健センター

## 7. 会員卓話 吉田 昌生君

### 「神社今昔」

日本人は危機や挫折に直面すると「神も仏もないものか」という。そこに日本の宗教の特質があり、仏教と神道の基に占来の民間信仰があってそれらの接点は重なり合っている。氏神信仰は典型的な祖先崇拜であり、仏教も祖先供養が柱である。年忌を境に故人は穢れから清まって神や先祖(祖霊)になる。そしてある時期に農耕神として子孫の家を訪れる。正月の年神やお盆のみたままつりである。

本来、自然そのものが神であり、那智の滝や三輪山(大神神社)がその例である。それが仏教に倣って本殿を持つようになり、仏教も神道も異教に対して寛容であったから、そこから神仏混淆(習合)が発生した。熊野の入り口の藤白神社、元藤白王子社の神主であるが、当社には現在の観音堂に熊野の本地仏を祀っている。この神仏混淆が明治になって分離され、仏教は排斥されて強くなり、数々の名僧が現れたが、神社は弱くなった。

熊野三山の一つが熊野本宮大社で熊野権現といい「権」は「仮の」という意味で、仏が仮に神の姿で現れたものでこれが「本地」である。今、本宮の神は「スサノオノミコト」とされている。大和朝廷が地元の神を統合したため、伏見稲荷のように日本の神は担ぎ手によって変わる。

本宮はもともと「家津御子大神(ケツミコノオオカミ)」で「家(ケ)」は「木(キ)」、「気」つまり「パワー」の神である。お供えの「御食(みけ)・神酒(おみき)」はパワーがやどるものである。「穢れ」は「気枯れ・気離れ」で神から頂いたエネルギーがなくなること、「罪」は「包み」、神の姿を包んで隠してしまうもの、神から頂いた人間のすばらしい身を包んでしまうものでこれが病気や不幸の原因である。それを生命の素である水の力によって祓うのが「禊ぎ(みそぎ)」で、単なる清めてなく「気枯れ、気離れ」からの復活、甦りの精神である。人間の一生は水(羊水)に始まり、水に終る。熊野も生を甦らせるパワーを持つ水が信仰の根源である。

来年は熊野体験博、今なぜ熊野か、今も昔も決して「住めば都」でなかった。森林浴、自然浴を例にとるまでもなく、熊野の水、湯と木、気が生を甦らせる。今接待が問題になっているが、県民が「お接待」の心を持つ事が熊野博の成否を決めると思う熊野古道の道案内ができること、いや「こんにちは」の一言でもりっぱなお接待である。

## ~~~~~ ニコニコ・米山・BOX ~~~~~

山名 正一君	幹事代理努めます
柳川和一郎君	10.500m上空のジェット機の操縦室を見せてもらいました
中尾 享平君	2回連続で休みました
大沢 祥宏君	上芝さん、花田さんGSEのお世話御苦労さんでした
上芝 良造君	GSE無事終わりました 花田さん本当にありがとうございました
新垣 勝君	おかげ様で今日息子の大学の卒業式をむかえることができました
谷脇 良樹君	和歌山城南RC10周年記念コンパで賞品を頂きました